

教科	国語	単元名	みんなが使いやすいデザイン
----	----	-----	---------------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

C-STEP3, D-STEP3
G-STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
- ・報告する文章を書くことができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・市民図書館と連携して用意したユニバーサルデザインに関する本から、目的意識をもって情報を収集する。

単元における学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが使いやすいように考えられたデザイン(ユニバーサルデザイン)について関心をもち、学習課題(調査報告文)を設定する。 ・学習計画を立てる。 <p>(①調べたいことを見つける。②調べて整理する。③文章の構成を考える。④文章を書く。⑤読み合い、感想を伝える。)</p>
第2次 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのユニバーサルデザインを探す。調べたいことを決める。 ・決めたユニバーサルデザインについて調べてメモを取る。(調べる方法:本・インターネット・実際に見る(使う)・インタビュー)(☆) ・集めた情報を整理する。 ・報告する文章の組み立てを考える。 ・下書きをする。 ・清書する。
第3次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み合い、感想を伝え合う。(本時) ・学習をふり返り、今後の学習につなげる。

本時のねらい

- ・報告する文章を読み合い、内容や文章の書き方について感想を伝え合うことができるようになる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (10分)	<p>1. 前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの報告文を読み合う時のポイントを確認する。(小見出しの立て方、引用のしかた、結論と本論の整合性、自分の考え) <p>めあて文章を友だちと読み合って、内容や文章の書き方について感想を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を使い、グループでお互いの報告文を共有させておく。
展開 (25分)	<p>2. グループで報告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞く児童は、事前に読み込んだ原稿をタブレットで見ながら、発表を聞く。発表を聞いた後、「疑問に思ったこと」や「いいなと思ったこと」を伝え合う。 ・グループ交流後、全体で意見を交流し次の人の報告を聞くときに意識する。 ・二人め以降も、同じ流れで進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告する文章を読み合う時の観点について、日常生活の中で読む新聞なども思い出しながら、教科書で学んだことをもとに考える。 ・事前に準備しメモを参考に、発表を聞きながら、感想を伝え合えるようにする。
まとめ (10分)	<p>3. 見るポイントを参考に自分の報告文を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントに着目して、自分の報告文を友だちのアドバイスも参考にしながら振り返り、次にいかそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想を伝え合う中で、ポイントを意識させるように分類し、より明らかになってきた観点を確かめる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・今回の実践では、下書きを書いた段階で一度友だち同士で読み合う機会があればよかった。
- ・友だちからのアドバイスを聞いて、「新しいものを書きたいけど清書した後だから」というような意見が子どもたちから出ていた。児童がよりよい報告文を作成するためには、下書きの段階で本時のような機会を設けることが、必要だと感じた。
- ・新聞をあまり読まない、見たこともないという子が増えている中で、新聞のような見出し・小見出しを書くことは少し難しかったが、報告文を書く時のポイントをクラスみんなで確認し、共通認識をもつことで交流もスムーズに行うことができた。



報告文をグループで発表し合い、ポイントに沿って感想を伝え合っているところ